

保存版

新型コロナウイルス感染症対策 /

# 県民・市民をさまざまなカタチでサポート！

## 白山市コロナワクチン接種特設サイト

白山市では5月から集団接種をスタートし、現在市内に3カ所の集団接種会場（松任会場、美川会場、鶴来会場）を設けて対応しています。接種対象者や予約方法、接種会場など詳細は特設サイトをご確認ください。

【お問い合わせ】  
白山市専用コールセンター  
TEL.076-256-2813  
(9:00～17:00 土日祝日含む)  
※ワクチン接種の予約も電話でできます

詳細はこちら



## いしかわ県民ワクチン接種センター

石川県では6月に大規模接種会場（石川県産業展示館4号館 金沢市袋島町南193）を設け、若者から順次接種を行っています。JR金沢駅金沢港口（西口）から無料のシャトルバスも運行しています。

【お問い合わせ】  
いしかわ県民ワクチン接種コールセンター  
TEL.0120-977-592  
(9:00～21:00、土日は17:00まで)  
※コールセンターで接種予約はできません

詳細はこちら



## 石川県発熱患者等受診・ コロナワクチン副反応相談センター

かかりつけ医がない方や集団接種を受けた方で接種後数日経っても発熱などの副反応の症状が続く場合は石川県発熱患者等受診・コロナワクチン副反応相談センターにご相談ください。

【お問い合わせ】  
TEL.0120-540-004  
(9:00～21:00 土日祝日含む)  
※発熱患者等の受診相談については24時間対応  
※接種予約はできません

## 白山市の支援や対策

子育て世代や事業者、個人の方、外国人の方など対象者別に支援や対策など役立つ情報が掲載されています。

詳細はこちら



## 水害や土砂災害から命を守るために

### ハザードマップでまず自宅周辺をチェック！

万が一の災害に備えて、まずどんな危険が身のまわりにあるのかを知り、避難場所や避難経路など「ハザードマップ」で確認しておきましょう。

簡単に探すことができます

詳細はこちら



### 水害・土砂災害の危険度(警戒レベル相当情報)を簡単に確認できます

#### 水害・土砂災害の危険度

洪水害・浸水害・土砂災害の危険度を確認できます

詳細はこちら



#### 河川水位に関する情報

雨量や川の水位、川の様子などを確認できます

詳細はこちら



#### 土砂災害に関する情報

地区単位で土砂災害の危険度などを確認できます

詳細はこちら



県政の相談や地域のお困りごと相談はこちらへ



## 安実隆直事務所

〒924-0865 白山市倉光五丁目 106-1 グレイス K1F  
TEL & FAX.076-205-8299 E-mail takanao@anjitsu.jp  
https://anjitsu.jp

安実隆直 検索

最新情報は公式facebookで配信中



安実 隆直 ANJITSU TAKANAO

今日も

# 県政報告誌

# 大安吉実

たいあんきちじつ

大きな安心と安全な暮らしをきっちり実現します

Vol.09

令和3年9月発行

## ごあいさつ

朝晩は随分と涼しくなり、秋風が肌に心地いい季節となりました。皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

今年の夏は、新型コロナウイルスの影響で史上初の1年延期となった東京五輪が開催され、世界各国から集まった一流のアスリートたちが見せた力と技は多くの感動を与えてくれました。感染力の強いデルタ株の広がり一部に中止を求める声もあり、開催すら危ぶまれる不安定な状況でも練習に打ち込むアスリートのひたむきな姿と全力を尽くして戦った精神力の強さに私自身も多くのことを学ばされました。と同時に東京五輪では「多様性と調和」が大きな理念の一つとして掲げられていたことも忘れず、多様性を認め合い、誰もが暮らしやすい地域となるよう今後も全力を尽くして参りたいと思っております。

一方、西日本を中心に記録的な大雨となり、北陸でも土砂災害や冠水被害、交通機関の運休が相次ぐなど自然の脅威を改めて感じるようになりました。いま一度、ハザードマップの確認や避難訓練といった地域に根差した防災活動に地域の皆様と団結して取り組み、より安心・安全で快適な暮らしを実現したいと思っております。最後にリニューアルしたホームページでも皆様からのご意見やご要望などをお待ちしております。



コロナ禍のためリモート会議で意見交換

石川県議会議員

安実隆直

PROFILE

プロフィール

1964年8月18日白山市矢頃島町生まれ。松南小学校、松任中学校、石川県立松任高校、石川県立農業短期大学卒業。手取川七ヶ用水土地改良区勤務を経て、2013年2月白山市議会議員初当選、2017年2月同2期目当選。2019年4月石川県議会議員初当選。  
《所属党派》 自由民主党石川県議会議員協議会  
《所属委員会》 総務企画県民委員会、災害・県土強化対策特別委員会

新型コロナウイルス感染症や災害に関する情報を裏面にとりまとめました。ぜひお目通しください。



HPはこちら。活動報告もご覧ください



視察レポート

## 市花・あさがおでお出迎え



7月、今年で30回目を迎えたあさがお常設展がJR松任駅南広場で開催されました。会場には白山市千代女あさがお会の会員が丹精込めて育てた約270鉢が並び、色とりどりの花が来場者や駅の利用者らの目を楽せました。あさがおは白山市出身の俳人加賀の千代女の句にも登場し、白山市の花にも制定されています。

県議会・録画中継を  
ご覧いただけます



県議会・会議録も  
ご覧ください

発言者検索で「安実」と  
入力してください



## 米の消費拡大について

Q.今年1月の家計調査の食料支出額（総務省）では、主食的食品の1位はパン、2位麺類、3位米となっている。このように米離れが進む中、米の消費拡大への取り組みを聞く。

A.2001年度から生産者やJAと一体となり、高品質米の生産に取り組み、卸売業者からも高い評価をいただいている。さらに石川県が開発したひやくまん穀は、大粒で冷めてもおいしい特徴を生かし、中食や外食への販路拡大を一層進めることで、県産米の消費拡大を図っていききたい。



## 農林水産物・食品の輸出拡大について

Q. 国が輸出拡大を後押しする「輸入産地」として、石川県では米とみそ、しょうゆが選定された。今後の課題とその対策はどうなっているのか。

A.米はJA全農いしかわが2016年から中国や香港、シンガポールに輸出を始め、19年に約700トンと約2倍まで輸出量を伸ばしている。ただ、現在のターゲットは、海外赴任中の邦人や富裕層が中心となっており、輸出量を増やすには海外の飲食店や、弁当や総菜など中食の活用が重要になってくる。一方、みそやしょうゆは、イスラム教の戒律に沿ったハラール対応や有機栽培の原料にこだわるなど現地消費者ニーズを踏まえた商品開発とPRが必要だと思っている。県も農林水産部と商工労働部が連携し、商談会やパイヤーのネットワークを通じて販路拡大を支援したい。



## 保育の質の向上について

Q.2021年度は東京大学と連携しながら保育教諭を対象とした研修を行うとしているが、具体的にはどのようなことをやるのか。

A. 保育教諭の役職や経験年数といったキャリアステージに応じた階層別研修を行っている。さらに認定こども園の保育教諭等に実施したアンケート調査の結果も踏まえながら、リーダーシップや職場環境づくりに関する研修も盛り込む方向で検討している。



### その他の質問

- 米の食味ランキング
- 農泊地域の支援拡充
- あおり運転
- 米の需給対策など

## 委員会質疑

### 6月 総務企画県民委員会(6月28日)

Q.毎年、気象庁の情報をもとに白山火山防災訓練を実施しているのであれば、参加機関(石川県や岐阜県、白山市、白川村、警察、消防など)に気象庁も加えるべきではないか。

A.ご指摘を踏まえ、今後、気象庁も訓練に参加していることをしっかり伝えていきたい。

### 7月 災害・県土強靱化対策特別委員会(7月7日)

Q.洪水被害を想定した県内28の大規模河川(水位周知河川)で洪水ハザードマップの見直しを行い、今後県内全域の小規模河川でも作成するとしている。具体的にどのような河川になるのか。また身近な用水路などの内水氾濫に備えた対策も必要なのではないか。

A.県内には一級、二級程度の河川が212あり、今後、大規模河川28を除いた184の小規模河川を対象としながら洪水浸水想定図の作成に着手する。内水氾濫の起きた場所は市町からも情報ももらいながらハザードマップへの掲載も検討していく。



## いしかわ応援団「関係人口」の創出・拡大について

Q. 人口減少社会を見据え、県外からの交流の入口を増やすため、いしかわ応援団「関係人口」の創出・拡大に取り組んでいるが、これまでの状況とコロナ禍の影響は。また国の支援策を活用すべきではないか。

A.2018年度から県外の大学生等を対象に1週間から1カ月程度、県内企業で就労や地域交流などを通じて石川県の暮らしを体験してもらっている。2年間で198人が参加し、アンケート調査では約7割が石川県への移住に前向きな回答をしている。しかし、今はコロナ禍で受け入れが厳しく、総務省の関係人口ポータルサイトを積極的に活用し、オンラインプログラムも追加しながら地域の魅力を発信していきたい。

## いしかわ観光特使について

Q. 観光応援団の裾野を広げるため、2010年度に創設した「いしかわ観光特使」の委嘱人数の推移やPR活動の内容を聞く。

A. 現在、いしかわ観光特使は、県内で約380人、県外で約620人と創設時から倍増している。県内にいる方はブログで、県外の方は口コミで職場の人や友人などに石川県の魅力を伝え、累計約3万2千人の誘客につながっている。

「いしかわ観光特使」  
ホームページ



## 高校での給食実施について

Q. 生徒や保護者の要望や地域活性化対策も考え、可能性のある高校から給食の実施を検討していただきたい。まず高校生の昼食の実態調査をすべきではないか。

A. 数校の県立高校で実施した調査では、9割以上の生徒が弁当を持参し、それ以外は学校内の購買でパンやおにぎりを購入している。一方で、2018年から志賀町では志賀高校に給食を提供している。他の市町からも高校で給食実施の話があれば、学校現場や生徒、保護者の意見も踏まえて適切に対応していく。



## 小中学校の事務職員の活用について

Q. 文部科学省では事務処理の効率化と学校のマネジメント機能を強化するため、共同学校事務室の設置を推進している。現状の課題と取り組みを聞く。

A. 野々市市では2019年度から共同学校事務室を設置し、事務作業の負担軽減や若手事務職員の資質向上につながっている。学校事務の共同実施は、教員が行っている公務も事務職員が担えるようになり、教員の業務負担の軽減も期待できる。野々市市の取り組みの状況を他の市町へ情報提供し、市町からの相談に指導、助言していきたい。

その他の質問 ● 県産農林水産物など